
ウズベキスタンとの綿糸ビジネスについて

<CONTENTS>

1. 増井株式会社 会社概要
2. ウズベキスタン綿糸の特徴と販売先
3. ウズベキスタンから日本への物流
4. ウズベキスタン綿糸の日本国内販売数量
5. ウズベキスタン綿糸拡販のための課題

2019年2月19日

増井株式会社
時田知昇



1. 増井株式会社 会社概要

- ・会社名 増井株式会社
- ・創業 明治42年12月1日(1909年)
- ・本社所在地 大阪府中央区今橋3丁目3番13号 ニッセイ淀屋橋イースト
- ・資本金 140百万円
- ・売上高 5,386百万円(2018年度)

- ・(営業拠点) 国内:東京営業所、北陸営業所、福井事務所
海外:青島増井製線有限公司、上海日申金銀糸有限公司

- ・事業フィールド
 - 1.各種原糸の日本国内販売
レーヨン、綿糸、ポリエステル、シルク、アクリル、ナイロン等
 - 2.テキスタイルの販売
 - 3.小物製品の製造販売 等

2.ウズベキスタン綿糸の特徴と販売先

1)ウズベキスタン綿糸の特徴

- ①長繊維綿（約30mm）の綿花を使用、綿糸に光沢がありソフトな風合い
- ②ウズベキスタンでの生産番手

番手	用途(例)
10S	柔道着、油絵のキャンバス
20-30S	タオル、毛布
40S	シャツ、肌着



- ③世界最新の紡績設備導入による自動化の進行
→日本向け品質対応可

2)当社のウズベキスタン綿糸の販売先

	用途	産地
i	タオル	今治、泉州他
ii	ハンカチ、テーブルクロス	西脇
iii	毛布	高野口
iv	衣料用ニット生地	和歌山

増井株式会社はウズベキスタンの良質な綿糸を輸入し

「サマルカンドリア®」ブランドとして日本国内に販売しています

3.ウズベキスタンから日本への物流

➤コンテナ輸送

ウズベキスタンは世界でも2国しかない二重内陸国のため海上輸送が困難(リスク・コスト高)

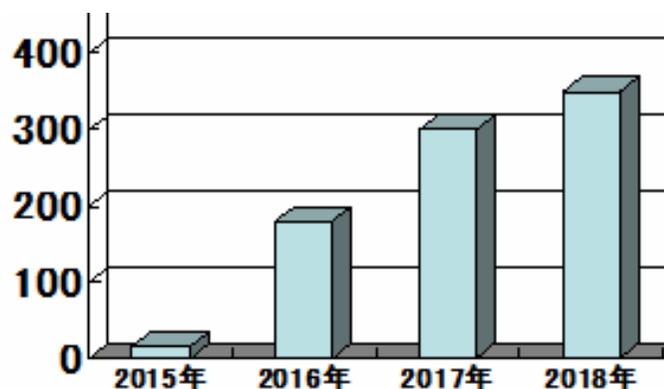
TSR(Trans Siberian Railway)を利用することによって安定した輸送が可能になった



TSR : TASHKENT→ロシア極東港 VLADIVOSTOK/NAKHODKA/VOSTOCHNY
 海上輸送: ロシア極東港→韓国(釜山)→大阪港/今治港

TSR:約2week/海上輸送:約2week (合計約1カ月で日本の港に到着)

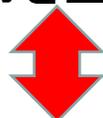
4.ウズベキスタン綿糸の日本国内販売数量



5.ウズベキスタン綿糸拡販のための課題

1) 児童労働問題の解決

現在も一部の欧米および日本の大手アパレルメーカーが仕入れポリシーとしてウズベキスタン綿糸の不使用を宣言



「ウズベキスタンの綿花収穫における児童労働の組織的な利用は終結した」と記載
2018年2月1日 ILO（国際労働機関）レポート）

- ### 2) 品種の多様化
- ・ 細番手（60s～100s等）
 - ・ オーガニック綿糸の生産
 - ・ コンタミネーションフリー綿糸の生産 等

3) 品質問題発生時の迅速な対応